

# ふるさと奥尻通信

平成28年12月30日  
奥尻町教育委員会発行  
事務局:01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

## 巻頭言

船舶や航空機が緊急時に救難通信を発する場合、SOS(エスオーエス)やMAYDAY(メーデー)と送信、発声します。準緊急事態時に発するPANPAN(パンパン)というのもあります。

## 特集 憧れの奥尻ー江差航路② フェリー編

前号に引き続き定期航路を彩ったフェリー就航後の歴代カーフェリーをご紹介します。

### ①「奥尻丸」

昭和42年6月23日、待望のフェリーだった「奥尻丸」(327.61トン、定員200名)が就航。島民は希望のまなざしをもって処女航海を見送りました。バスは2台までしか積み込めませんでした。安定した輸送が実現しました。最終航行は昭和50年1月17日でした。

### ②「第二大函丸」

昭和47年5月より奥尻ー江差航路に就航させたものが「第二大函丸」(479.79トン、定員336名)です。当初は函館ー大間航路で走っていたものを購入したものです。昭和47年2月に道南海運より後の東日本海フェリーに運航会社が変わりました。

### ③「第一ひやま」

昭和53年より投入されたのが「第一ひやま」(796.52トン、定員462名)です。当初、同船は船首が開閉する仕様でしたが、波が流入するなどの凌波性の問題が生じたため、改造されました。



第一ひやま 初期



第一ひやま 後期

### ④「第二ひやま」

昭和57年より就航したのが「第二ひやま」(998トン)です。これは元の第八宗谷丸で、その前は別会社で運行していた船です。

### ⑤「第五ひやま」

昭和62年5月1日より就航したのが「第五ひやま」(1599トン、定員570名)です。平成11年より「アインズ宗谷2」に改名し、利礼航路へ転用されました。

### ⑤「ニューひやま」

平成3年6月より就航したのが「ニューひやま」(2258トン、定員408名)です。北海道南西沖地震時は奥尻港にあり、直後に係留ロープを断ち切って脱出に成功しました。平成20年に退役しました。これにより奥尻-瀬棚航路は一往復の運航となりました。

### ⑥「アヴローラおくしり」

平成11年4月より就航したのが「アヴローラおくしり」(2248トン、定員夏季534名、冬季393名)です。「ニューひやま」の同型船です。同年8月に今上天皇が行幸啓した際のお召し艦となりました。平成29年4月に退役予定で、5月より新造船の就航が決まっています。



奥尻丸 奥尻港にて



第二大函丸 奥尻港にて



第二ひやま 江差港にて



ニューひやま 震災復興後の奥尻港にて



アヴローラおくしり 奥尻港にて



最初のフェリーである「奥尻丸」の売店です。売り子の女性の左奥の壁には商品の価格が書いてあります。見える部分だけ読み取ってみました。

ガラナ 50円 ジュース20円  
シトロン 20円  
姿焼 50円 焼フグ 50円  
焼タラ 40円 寒干タラ 50円  
他にも、ビールや酒、ロツテのミルクチョコレート、アポロ？、高橋製菓のビタミンカステラのようなものが並んでいます。まさに大人も子供も喜びそうな商品ばかりですね。

現在では、飲み物は自販機になり、店頭ではお菓子や酔い止め薬などを売っています。他に奥尻や江差の名産品も少々扱っているようです。レア商品としては、東日本海フェリー時代の奥尻発の切符(硬券)をストラップにして販売しています。こちらは船内限定のようですから、お早めどうぞ。



学芸員オスメの一冊をご紹介します。本は海洋研修センター図書室で借りられます。

鉄道考古学事始 新橋停車場 齊藤 進

全国の鉄道には電車、地下鉄、モノレールなど様々あります。昔は蒸気機関車のみでしたから、汽車とよばれていましたね。北海道では今でも電車のことを汽車と呼んでいる人がたくさんいます。最初の鉄道は新橋-横浜間29キロでしたが、東京の汐留を再開発する際に掘り出したのが、明治初期の鉄道遺構でした。当時の鉄道事情を解明する新発見でした。

月刊 奥尻のつり 12月号

12月に入り冷え込みもあって、初旬以降はイワシの回遊もほとんどなくなってきました。中旬にはまとまった雪も降り、一時的に釣り人口も減ってきました。それでも、ヤリイカの回遊が始まったため、宮津弁天の真下や赤石港の先端ではイカ釣りの浮き釣りのライトが明滅しています。ただ、イカは急に釣れだしたり、居なくなったりするので、掴みどころがない存在ですので、足しげく通うか、最新の情報をキャッチする必要があります。一方、ブリ(ワラサ級)の回遊もなくなり、そろそろサクラマスの声が聞こえてくる時期です。近年は、マスライセンスの要らない陸からの釣りが流行っていて、休日には多くのアングラーが竿を振っています。とは言え、まだまだ小振りの個体が多く、リリースサイズがほとんどのようです。

昭和奥尻生活詩 新谷清二の鳥賊つけ1ヶ月 第16回

釣石尋常小学校高等科二年生 文集「鳥の子」第八号より

たらでだボだれつた寝なしでた棒でむ船た  
。安家がし。て飛。な。つ。も。思。が。上。した。俺 七月  
心のむン。何ん鴨いて眠う今なげ。い。一。船 二十  
め暮しとずかだが。来。ら。様。日。い。よ。旗。し。人。晚 三  
いら暑走っ取り右後るなにはのうへたでか 日  
てしいとってにの。か。船。二。で。と。大。あ。約。ら 十三  
来の。て。向。て。も。者。船。っ。進。千。上。思。漁。せ。三。朝 日  
て事そ行こ食時左は頭たまばげっ旗ひ百ま へ  
眠をんくうっマに皆とのなからてした許で 木  
っ想な。に。て。海。も。寝。機。で。い。り。れ。い。を。へ。り。釣。 曜  
てっの空汽いに二て関眠。取。な。た。俺。重。つ。れ。 日  
してをは船る嘴三し士が朝っか居達みけて 日  
まい眺曇が様を羽まだ重迄たった四でたい 曜  
っためり。子。入。づ。っ。け。く。少。の。ら。人。沈。 日

の県でそべ実かのだ獲り  
たですのるは、料とれまブ  
ぶ、実。味た、大理思るす  
ん間際寒付めこ根、わ地。大  
。い。間。り。程。も。料。メ。リ。ま。に。ち。と  
あいの度の理イがす根ろい  
りて本なではンメ。付んう  
まき場の、大なイでい、料  
せま、だブ根のんはたブ理  
んし富そりをかな、料りが  
た山うは食。の。こ。理。の。あ

ブリと大根



きれいに仕上がっています

す降たるにす利変すでとめま  
。つ。専。ス。用。わ。、い、し。イ。桜  
てあ用ノ他しり内こう人たレケ  
くとスしに易ま部の声前。前  
れはペボもくせが度がで共にス  
れ二し、なん古改あは同日キ  
ば、スドスれがい修り利ト隠  
問三ををキば、仕しま用イし場  
題回設たし幸少様たししレをロ  
な大けて置きしなもたにの設  
し雪ま掛きででのののくた置  
でがしけ場もはでのいし

スキー場ロッジ整備

ジ三ま一今カも雪カけ無の  
力人しべ月と仕のツれく、今  
なでたん初腰方降とどな、今  
などソらキ旬をあり方るもつ、冬  
六イ、岩、下り方に、どし、雪  
○、大、西ろまに、どし、雪  
匹ハ漁に海しせ一喜うまは早  
以上ガま釣のよ。憂かたは、  
もラしり通う。ドし、ら、ど  
！、て、を、称、う、ド、し、ら、ど

新衣之記録 (編集後記)

ンれP予七い急とり新の田道  
型てに定日まピに奥造造工市昨  
といはでにすツな尻船船場にあ年  
なま建、は、ちつ航はがに七月  
るす。造フ進年でて路、行てる  
見。の。エ。水。明。作。お。に。わ、内  
込三様リ式け業り投十れ新海、  
み六子しのが、入九て型造、  
で五が会行一行たさ年いフ船、  
す。○紹社わ月わだれ五まエの  
。総介のれ二れいる月す。リ  
トさHる十てまこよ。戸尾

新造船建造中です



道南海運時代のバス乗車券 昭和33年